

Sec01-08-2
専門員の所掌業務及び調査分析項目

改版履歴

- 【2021年12月16日】2022年度公募要項を反映して見直し
- 【2021年4月22日】「Sec01-08-2-2_組織の位置づけと業務実施姿勢」追加
- 経過 14
- 【2018年6月6日】係会議資料として提出

資料目次

- 2 Sec01-08-2-2_組織の位置づけと業務実施姿勢 51
- 2 Sec01-08-2-3_専門員の所掌業務及び行動規範【母子】 51
- 2 Sec01-08-2-4_専門員の所掌業務【要約】 51
- Sec01-08-2-5_専門員業務ハンドブック【要約】
- 2 別添資料 51
 - Sec01-08-2-6_相談対応手順【要約】
 - Sec01-08-2-6_SNSおよびポータルからの更新情報の発信手順【要約】
- 2 TCYSSでの情報収集・整理・蓄積と発信【概念図】 51

従来の問題点

- 専門員の職務内容は、発足前の想定のままであり、6年の間に業務の実態は変わっている
- 委託の問題点
 - ガイドブック作成、サーバ運用等の外部委託コストが高い
 - 委託ではきめ細かな情報発信が困難
 - ノウハウが組織に蓄積しない
- 職員のスキル向上が望ましい
 - Word, Excelが使えるレベルのITリテラシーでは、業務を遂行できない
 - 専門員の採用に当たっては、経験、知識とITヒューマンスキルを重視すべきでは
- その他
 - 相談の適切な対応のためには、障害状況等を事前に整理された形で確認でき、情報を整理して回答できるメール、チャットのほうが効果的
 - テレワーク時、職員と共通のSkype、Teamsビデオ会議、都庁メールを使えないことが、円滑なコミュニケーションの阻害要因の一つになっていないか

1 Sec01-08-2-2_組織の位置づけと業務実施姿勢

2 商工部として中小企業の事業の発展を支援

経営支援課の中小企業の発展のための施策の1つとして、IT活用の推進があり、IT活用を阻害する要因の1つとしてセキュリティ対策を考える

3 専門員は、中小企業において、「経営者、システム管理者が、「デジタルリテラシー」の知識とスキルを得て、①守りのIT・セキュリティ対策に留まらず、②事業を発展させるための攻めのIT・セキュリティ対策を講じことを支援する。

※ITの知識を持たずにセキュリティ対策を講じることは困難。セキュリティ対策は、IT活用の推進の中でセキュリティバイデザインの考え方で対応する

- ②守りのIT・セキュリティ対策
- ①攻めのIT・セキュリティ対策

デジタルトランスフォーメーションの推進には、これまでの「デジタルを作る人材」だけでなく、「デジタルを使う人材」

3 「デジタルリテラシー」習得の啓発、推進

中小企業が、ビジネスを発展させるためには、攻めのIT投資とサイバーセキュリティ対策を講ずる必要がある

2 中小企業支援の戦略

3 「デジタルリテラシー・スキルフレームワーク」で網羅的・体系的に

4 デジタルリテラシーの浸透に向けたツール

4 デジタルリテラシー領域「Di-Lite」

IT・データサイエンス・AIを使うための基礎的なスキル・知識・マインド

4 マインド デジタルに取り組むスタンス、マインド

4 知識体系 デジタル活用分野/適用事例

デジタル知識

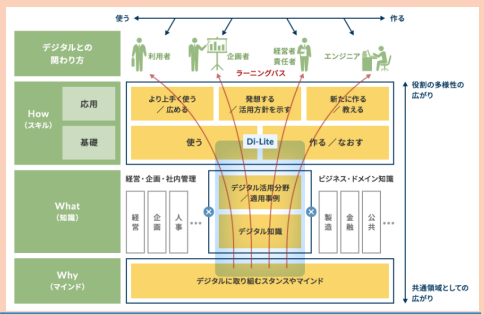
4 スキル

5 基礎

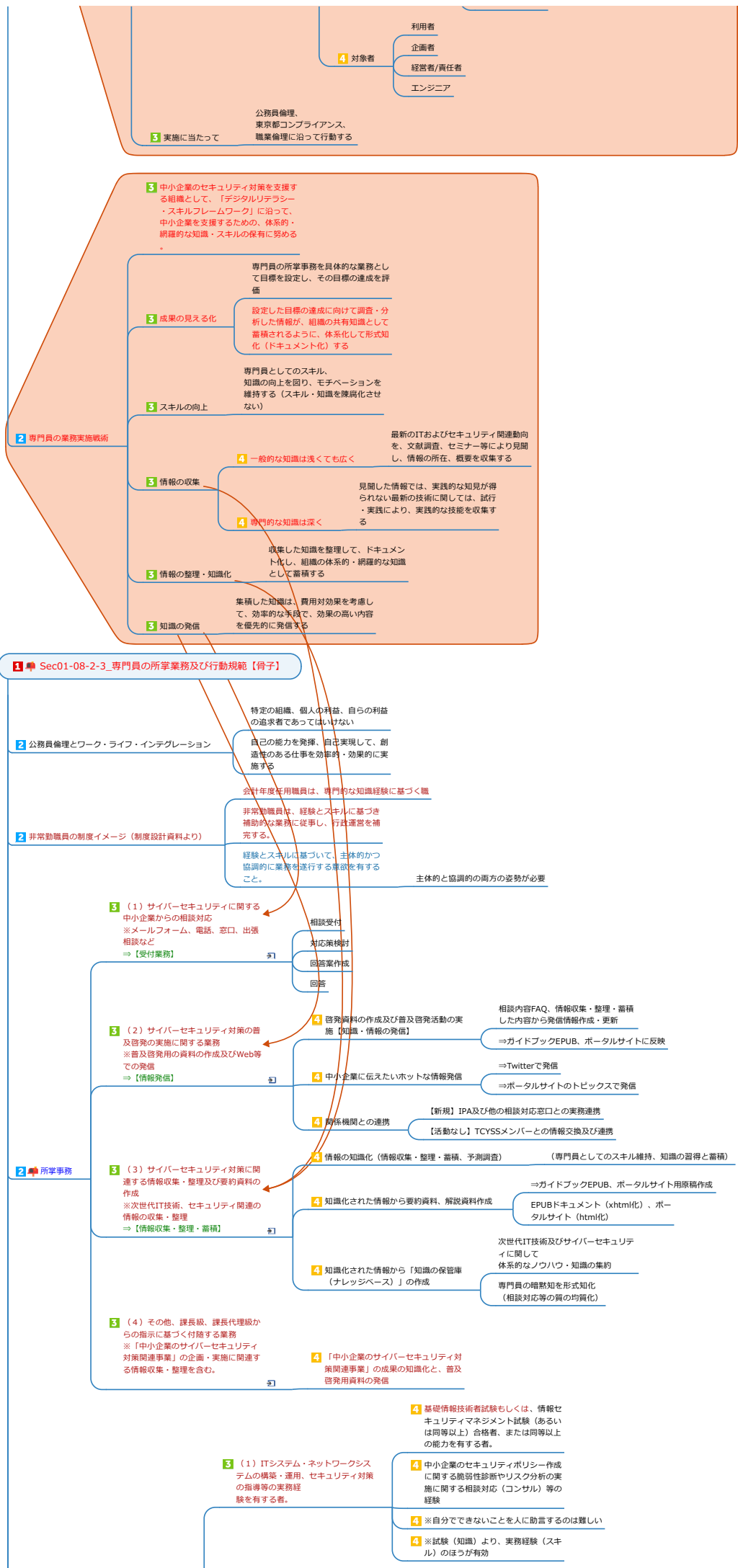
使う、作る/なおす

5 応用

より上手に使う/広める
発送する/活用方針を示す
新たに作る/教える



デジタル変革の推進による、より良い社会 (Society5.0) の創出に向けて、ビジネスパーソンが身につけるべきデジタルリテラシー領域「Di-Lite」を示すために、デジタルに関連して習得すべきスキルや知識・マインドを構造的に全体像として表したものだ。



2 求められる能力（専門員公募要項より）

3 (2) Webコンテンツ等（html,xhtml）の作成・編集について一定の知識・能力を有する者。

4 ガイドブック、ポータルサイトの更新業務（html,xhtml編集）について一定の知識・能力を有する者。

4 ※軽微な改修は、職員がやるほうが効率的

4 にコンピテンシーディクショナリ（ICD）で示されたITヒューマンスキルは、想像力、実行・実践力、コミュニケーション力

4 <https://icd.ipa.go.jp/icd/icd-skill-dictionary/skillref>

3 (3) 経験とスキルに基づいて、主体的かつ協調的に業務を遂行する意欲を有すること。
※一定のコミュニケーション力を持つこと

4 創造力
問題発見力
問題分析力
仮説設定力
論理思考力

4 実行・実践力
俯瞰力
深耕力
継続力
革新力

4 コミュニケーション力
相手の考えを理解する力
自分の考えを伝える力
共感を呼ぶ力

2 専門員としての行動規範

6

2 所掌事務の内容の明示の目的と意義

※ドキュメントによる情報の共有とノウハウの蓄積

※専門員の知識・ノウハウを形式知化し、発信情報、相談対応の回答内容の均質化を目指す

個人的な暗黙知ではなく、共有可能な知識として

※次世代技術、環境の活用のための実践的技術・知識の蓄積

相談者が現在利用もしくは今後利用すべき次世代IT技術、セキュリティ対策技術を、専門員として試行もしくは実用することにより、より実践的な情報発信および相談対応を可能にする

単に見聞した知識ではなく

※日々の有用な情報発信に努める

Twitter,ポータルサイトでは、定期的に有用な情報発信することにより、アクセスが多くなり、組織としての存在意義を高める

1 Sec01-08-2-4_専門員の所掌業務【要約】

2 (1) サイバーセキュリティに関する中小企業からの相談対応（窓口・電話・メールなど）及び相談記録作成

（相談対応の質の向上、均質化）

方針

一次対応は、
日常のルーティンワーク（定型業務）
一次対応担当が受け付け、調整の必要度を判断し、
二次対応担当へディスパッチ。
二次対応担当が回答する。

相談受付手段

☎ 電話での相談受付・回答
🌐 Webフォームでの相談受付・回答
✉ ※【新規】メールでの相談受付・回答
🗨 窓口対応

相談対応手順

相談対応手順（Sec01-08-2内別添）

2 (2) サイバーセキュリティに関する中小企業支援施策の実施に関する業務（※普及啓発セミナーの運営、事例集作成等）

（中小企業の経営者、システム管理者が知っておくべき情報を厳選して発信）

4 ポータルサイト/更新情報

✔ お知らせ

4 【拡充】ポータルサイト/関係機関提供情報

✔ トピックス
✔ 尚威情報

4 ☺ 【新規】「中小企業向けサイバーセキュリティ対策の極意」の解説および追補情報の発信

「中小企業向けサイバーセキュリティ対策の極意」作成時の要約前の情報をベースに解説文（虎の巻）として発信

📖 第2版解説+追補情報
✔ HTML版
✔ PDF版
✔ EPUB版（リフロー版）

※所掌業務（3）の「専門員ハンドブックとして整理したIT・サイバーセキュリティ関連の知識」をもとに体系的に発信

3 啓発資料の作成及び普及啓発活動の実施【知識・情報の発信】

4 ☺ 中小企業向けサイバーセキュリティ対策情報の発信【関連情報を体系的に発信する】

※サイバーセキュリティ関連各種ガイドブックの内容要約（Sec01-02）【2020年12月最終更新・更新再開予定】

インデックスページ

S01_基本方針（各種方針・計画書・白書・報告書類）

00_基本文書
CAB,NISC,METI,IPA,・・・

S02_実施手順（管理者向け）

NIST,CAB,NISC,METI,IPA,JIPDEC,総務省,厚生労働省・・・

S03_実施手順（一般ユーザ向け）

警視庁,IPA,ihaho,消費者庁・・・

S05_緊急時対応マニュアル類（専門員）

相談・届出先クイックリスト
・・・

S10_TCYSS業務

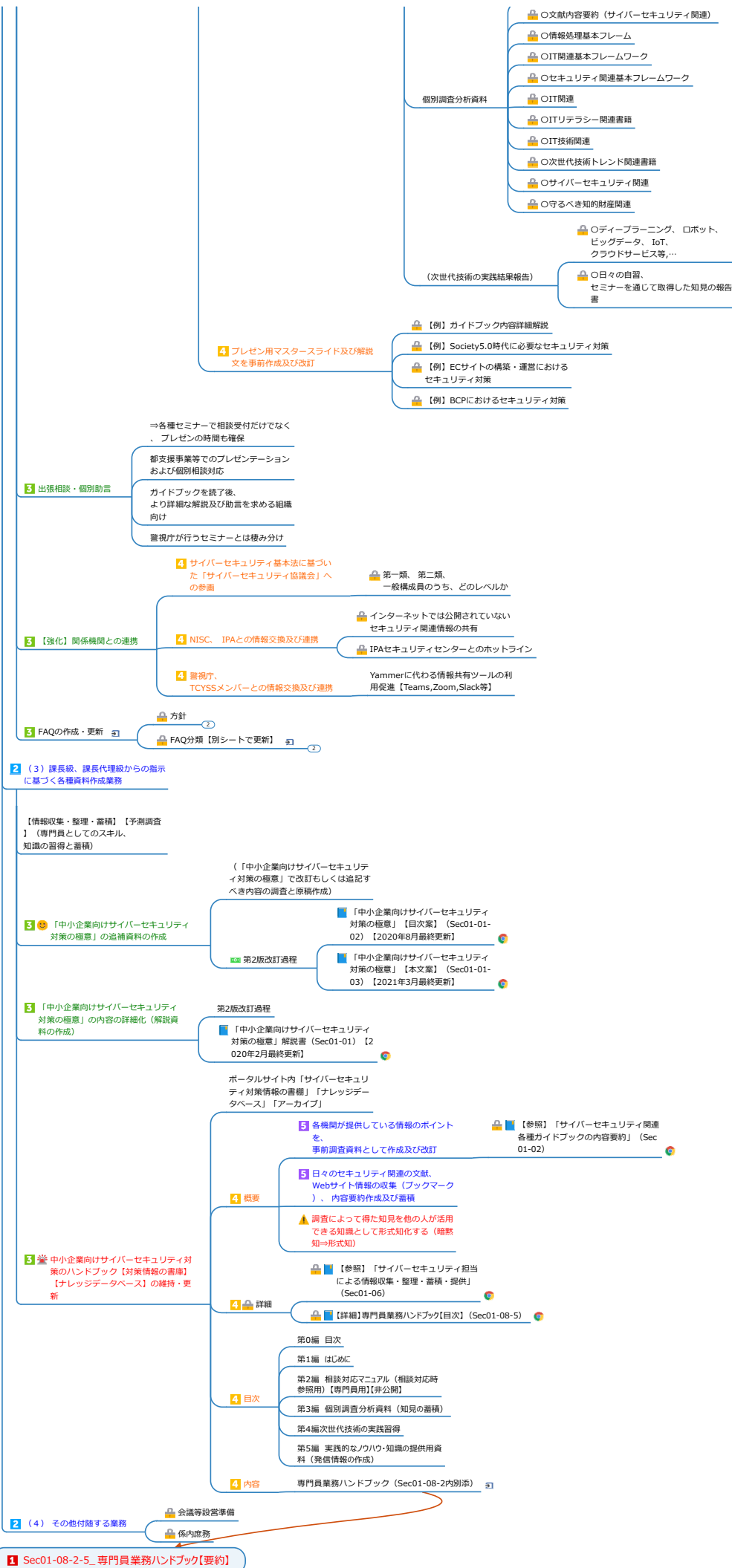
S90_サイバーセキュリティ

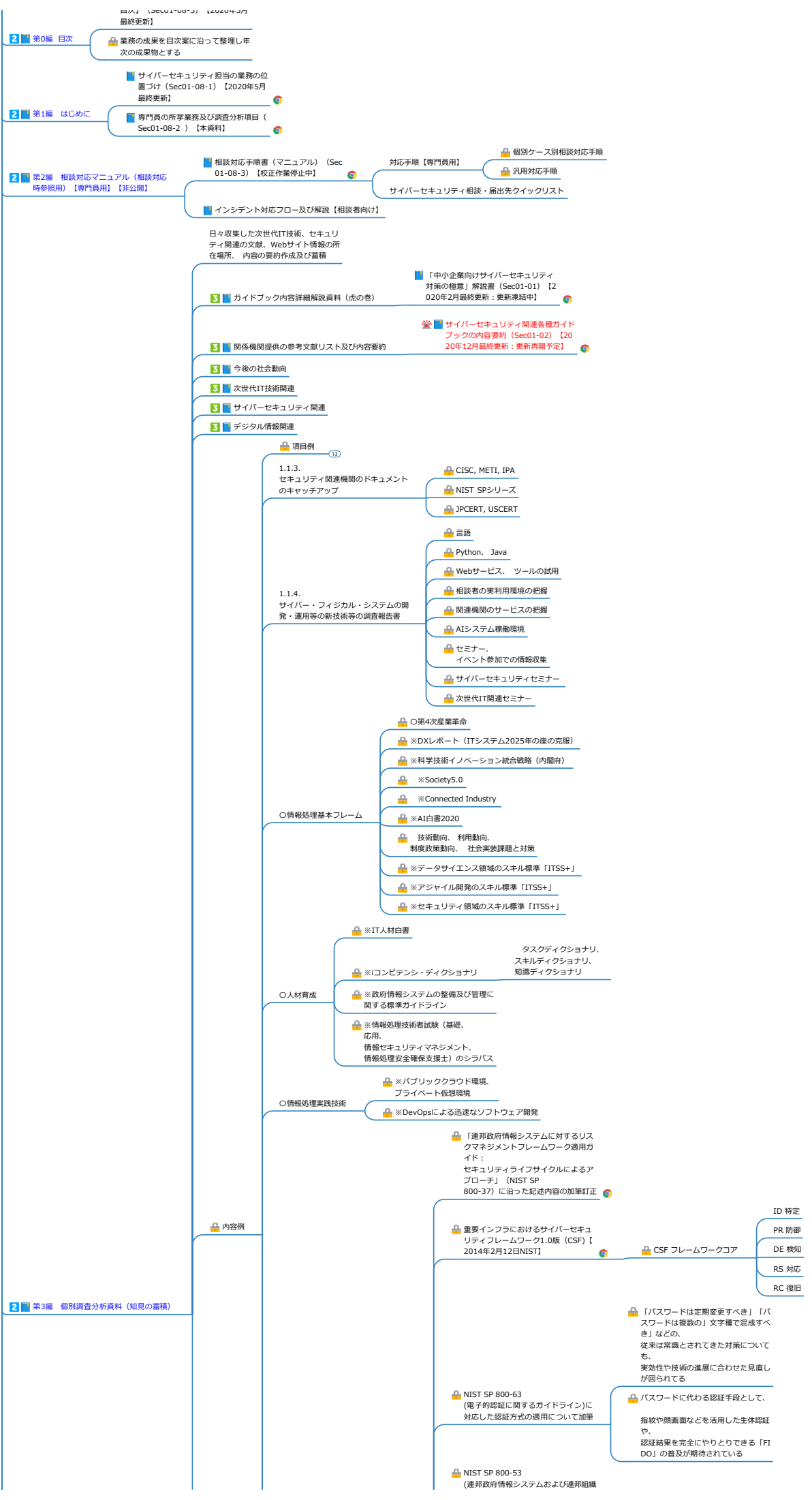
サイバーセキュリティ事象毎

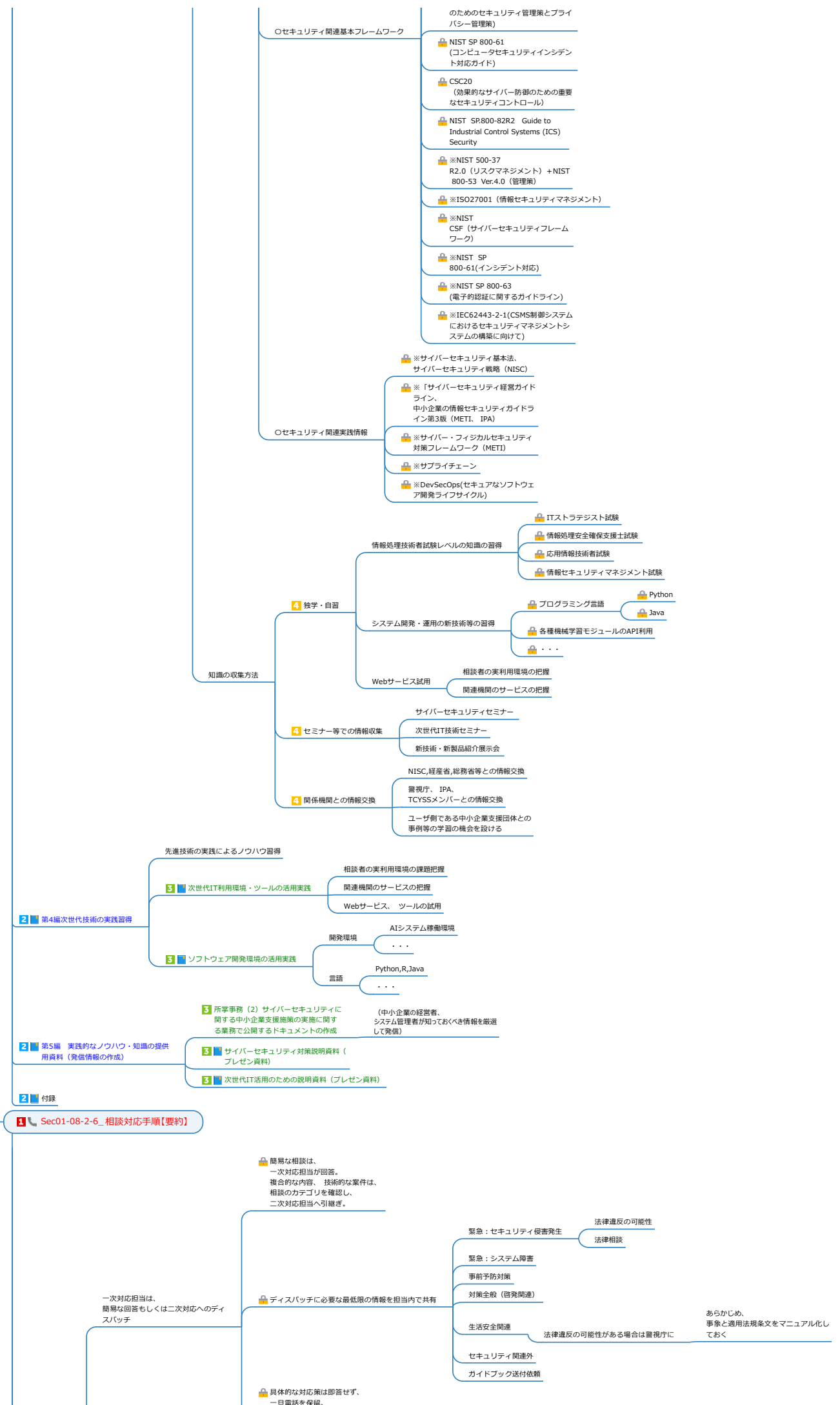
DX01_Society5.0

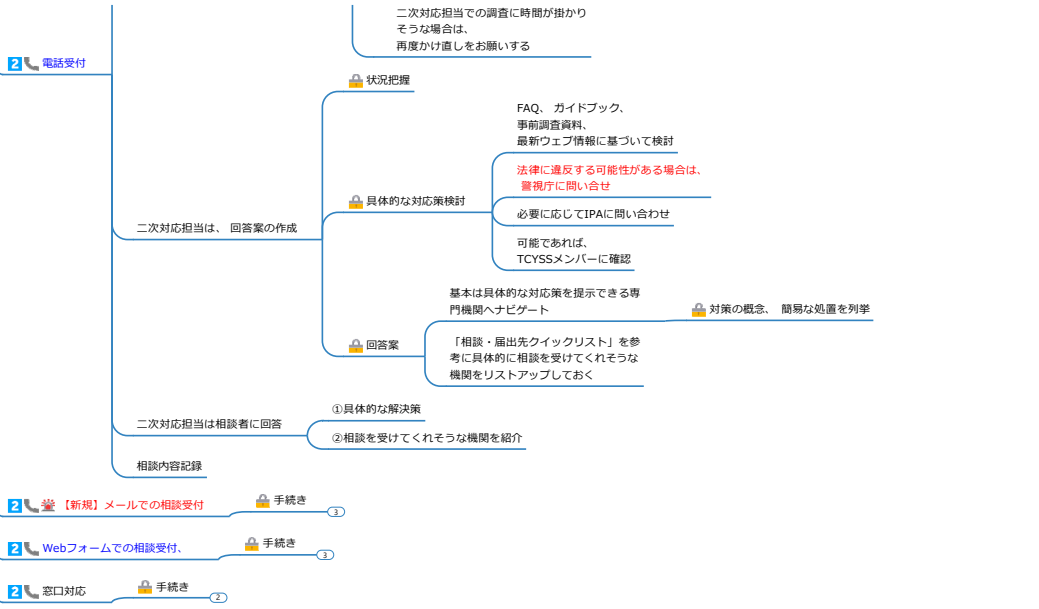
次世代IT技術全般

🏠 政策・制度、サイバーセキュリティ、次世代IT

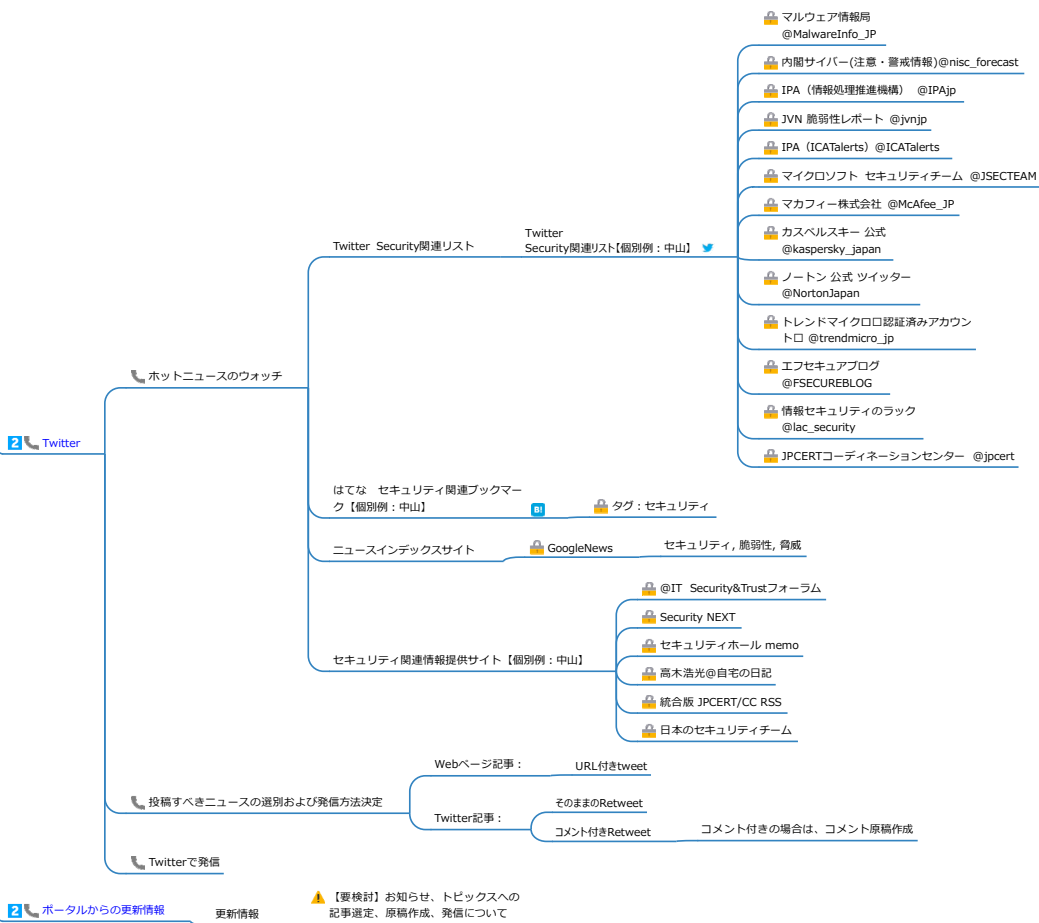








1 Sec01-08-2-6 SNSおよびポータルからの更新情報の発信手順【要約】



1 TCYSSでの情報収集・整理・蓄積と発信【概念図】

